

在京花巻人

発行 在京花巻人会
連絡事務所

東京都千代田区飯田橋
4-4-8 東京中央ビル603号
電話 03-6256-8082



年頭のご挨拶

在京花巻人会

会長 瀬川 紘一



新年明けましておめでとございます。皆様にはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。又、昨年中は在京花巻人会に対し格別なご支援、ご協力を頂き、心より御礼を申し上げます。今年もどうぞよろしくお願い致します。

それと言つのも民主主義後退の波は、日本でもやはり見過ごせない段階にまで来ていると思つかります。

個人より国を優先させるといふ考え方で教育基本法が改正され、特定機密保護法や「共謀罪」を盛り込んだ改正組織犯罪処罰法などが施行されました。又、白昼堂々とヘイトスピーチが語られ、弱者への拒否感をあからさまに表すなど、少数意見を否定する風潮がはびこっています。一方、民意の反映されない政治システム、特に国会が公文書の改ざん・隠ぺいや虚偽答弁によつて「議論による統治」が行われていない状況は、民主主義から程遠くなっています。

アーレントがその著書「全体主義の起源」で述べている、大衆は何が自分にとつて利益なのか判らず、自分の生きる場が危機に晒されてもそれに真剣に対応しようとしないう、という指摘が思い浮かびます。又、アーレントは全体主義の起源は同一性の論理であるとし、多様性の重要性を強調し、人間は異なる考え方を持つ他者との関係の中で初めて複眼的な視座を保つことが出来ると述べています。要は、人がこれだけは譲れないという信じられる価値を持ち、物事を他者の視点で見ることが出来るようにならない限り、全体主義への道をブロックすることは出来ないとい主張しています。

あけましておめでとございます。ふるさとから新春のお喜びを申し上げますとともに、日頃より在京花巻人会の皆様には格別のご支援ご協力を賜り、心から厚く御礼申し上げます。

また、東日本大震災の復興に物心両面から応援するために平成23年から始められた大迫・石鳥谷・東和の在京人会との合同による「ふるさと復興支援ツアー」では、昨年も多くの皆様にお越しいただいたことに対し、重ねて御礼を申し上げます。本市は、多くの観光客

を推進しております。昨年は、花巻市のワイン産地としての認知度向上とワインをきっかけとした交流人口の増加を図るため、産地の風土や文化などの地域資源がもつ魅力を感じてもらおう「ワインツーリズム」を初めて開催し、好評を博しました。在京花巻人会の皆様には、首都圏での情報発信、移住や交流に関する施策に積極的なご協力を賜っておりますことに、改めまして感謝を申し上げます。今後とも、花巻市の一層の発展のためご支援くださいますようお願いいたします。



新年のご挨拶

花巻市長 上田 東一



う精神が買われていると思います。又、地方こそが多様性を育んできたのであり、地方の衰退は同一性への危険性を増大させることも肝に命じたいと思います。

私たちは改めて、ふる里花巻がかげがえのない大切なものであることに思いを致し、私たちを導いてくれることに感謝したいと思ひます。

「第34回在京花巻人のつどい」のお知らせ

日時：2019年7月6日(土) 11時～14時
会場：東京ガーデンパレス
住所：東京都文京区湯島1-7-5
電話：03-3813-6211
アクセス：JR御茶ノ水駅 聖橋口

会員の活動報告コーナー

在京大迫人の集いに参加して

理事 松田 文男

十月二十八日、柔らかな秋の日差しを浴びながら、副会長の高橋千代吉さんと渋谷で待ち合わせ、一ツ橋の日本教育会館九階の喜山倶楽部で開催された第102回在京大迫人会の集いに瀬川会長と二人で参加いたしました。会は定刻通り始まり物故者への黙祷を捧げた後、主催者内村会長による挨拶があり、総会の諸案件も滞りなく承認されました。続いて来賓の紹介があり、大迫綜合支所長藤田哲司様(花巻市長代理)と花巻市議会議長の小原雅道様の祝辞がありました。続いて今年のアトラクションとして、自身も東京出身ながら大迫ブドウ農家でもある花巻市集落支援員の鈴木寛太さんの「大迫のブドウと共に」と云う講演があり、大迫



のブドウ農家の現状を踏まえた活動のお話で、若者の心熱き思いが伝わり又人柄が惚ばれとても嬉しくなりました。しかし岩手を代表する神楽とワインの里が少子高齢化の波をもろに受けている様子を知らされ、今年で102回と在京会としては正しくレジェンドである在京大迫人会を思うと、各在京会はもとより花巻市ひいては島国である日本国の問題でもありとつくづく考えさせられました。懇親会は美味しいワインと料理、訛り懐かしい会話で盛り上がり、最後はエーデルワイスの副社長の藤館政義様の名調子の音頭上げと特別相談役の菊池裕様の在京大迫人会と在京花巻ふる里会に対するエールで盛会裏に閉会となりました。

在京石鳥谷町人会の集いに参加して

副会長 高橋 良光

11月4日(日) 上野精養軒で開催された在京石鳥谷町人会の創立30周年の総会・親睦交流会に参加しました。上野駅公園口を出て、家族連れで賑わう公園を通り精養軒へ。在京花巻人会からは瀬川会長を含め4人が出席しましたが、全体では175人と多くの参加者で賑やかな集いでした。花巻市からの来賓者は勿論ですが、石鳥谷町地区にある5カ所のコミュニティセンターの役員の方々が50人以上も参加されていました。



司会者による総会開会宣言、物故会員への黙祷、町人会会歌斉唱と続き、上田花巻市長、小原市議会議長より祝辞を賜り、達増県知事からの祝電披露がありました。主に、最後はエーデルワイスの副社長の藤館政義様の名調子の音頭上げと特別相談役の菊池裕様の在京大迫人会と在京花巻ふる里会に対するエールで盛会裏に閉会となりました。

在京東和町友会の集いに参加して

理事 菊池 美津子

深秋のみぎり、去る11月18日(日)東京ガーデンパレスにおいて「第40回在京東和町友会の集い」が開催されました。千葉政光副会長の開会の言葉から始まり、蟹澤会長様より40周年の節目を迎えられたことの感謝の気持ちと、発足40周年を記念して東和総合支所に「ハナミズキ」を植樹した報告がありました。花巻市長上田東一様からは、恵まれない子供たちのために Lindo の花を30万個寄贈されたこと、又老朽化した東和コミュニティセンターの整備、農旅PRと称して棚田マラソンが施行されたこと等、盛り沢山の報告がありました。又、市議会議長小原雅道様からは、岩手山に3週間も遅い初雪が降ったこと、白鳥の飛来が見られたことなどホットな

は更に盛り上がりました。特に今年は創立30周年ということで盛大な集いでした。来年もまた故郷の香りのする集いに参加するのが楽しみです。



お話があり、今後の花巻の発展を期待したいと結ばれました。そして瀬川在京花巻ふるさと会会長の乾杯の発声により多様な料理に舌鼓を打ちながらの歓談タイムとなり、アトラクションとして何と「Laidog」バンドの生演奏。カレンダーガール・ルート66・ルイジアナママ等々。懐かしい曲に皆大喝采でした。次いで美女揃いのハワイアンショーにうつと。最後に全員が手を繋いで「北国の春」を合唱して、東和総合支所長菅谷一雄様の中締めと鎌田節郎副会長のご挨拶で楽しい会も閉会となりました。沢山のお土産も有難うございました。東和町友会様の益々のご発展をお祈りいたします。

第20回 岩手県人連合会 ゴルフ大会開催

監事 照井 稔

恒例の県連ゴルフ大会が10月10日(水)千葉県野田市の紫カントリークラブあやめコースで行われた。前日までの天候不順のなか、当日は絶好の秋のゴルフ日和に恵まれ、エントリーした175名が全員参加という盛況ぶりでした。この大会運営は第5ブロック(藤沢ふるさと会)が担当し、早朝7時5分〜8時20分までに全員元気にスタート。参加者の平均年齢は前年と同じ69歳とのこと。競技は前年同様、新ペリア方式のネットスコアで行われ、優勝はネットスコア68・6の高橋信(第2ブロック盛岡地区)さん、準優勝は島山寿雄さんでした。その他順位賞、飛賞、DC



84才のナイスショット

壮な鹿踊りの舞で花巻を大きくアピールし、多くのお客様に喜ばれました。イーハトーブの世界を前面に出したステージ

大好評のアリオ上尾店 でのイベント報告

副会長 島山 秀

セブンイレブンジャパンと花巻市が提携している「地域活性化包括連携協定」に基づくイベントが10月10日〜14日にイトーヨーカ堂アリオ上尾店にて開催されました。昨年の北砂アリオに続いて2度目の開催ですが、恒例の花巻物産展に加え、

賞、NP賞、など「ふるさと銘品」が多く用意されていました。「在京花巻ふるさと会」からの参加者は、島山秀、板垣幸雄、高橋弘美、照井稔の4名ですが、残念ながら上位入賞には至りませんでした。ことしも10月を予定していますが、多くの方々の参加をお待ちしています。

に菊池雄星君サイン入りのユニホームが飾られ、上田市長の挨拶にも埼玉県は菊池雄星君だけでなく多くの花巻出身の野球選手が西武ライオンズで活躍している大変に縁の深い県であることを強調されておりました。鹿踊りもわんこそば大会も初めて見るというお客様が多く、わんこそば

大会の参加者はやや興奮気味でしたが2分間で55杯がトップで雄星君サイン入りのユニホームをゲットして大喜びでした。わんこそば大会には在京花巻ふるさと会から5人のメンバーがお手伝いに参加し、初めての事で大変緊張しておりましたが、大会を盛り上げて無事終了する事が出来ました。



この度のイベントは「地域活性化包括連携協定」に基づくものとして、花巻市から上田市長とJA花巻の阿部組合長が揃って出席され、このイベントを盛り上げておられました。帰りにイ

トーヨーカ堂埼玉地域のゾーンマネージャー柴田さんから、多くのお客様に花巻の良さを紹介する事が出来た素晴らしいイベントでした。これほど盛り上がったイベントはこれまでにないので他の店でも是非計画を進めたいと大変に誉められました。

半面物販の面では食品と関係のない店頭に近い場所であった為に、食品を買うお客様が少なかつた事や、スペースが狭い上にレジを統一して使用する為のバーコードの取り扱いの問題で品ぞろえが十分出来なかつた事等、今後の課題が残りました。

したが、花巻に好印象を持ったお客様が確実に増えた事は間違いのない素晴らしいイベントでもありました。次回を期待したいと思います。

J A湘南でてこい祭り 2018に参加して
副会長 島山 秀
11月11日(土)と12日(日)の二日間、花巻市の友好都市平塚市の平塚総合公園で「JR湘南でてこい祭り」が開催されました。毎年この祭りに参加している花巻市は、今年も「花巻物産展」を出店、花巻市の名産品・特産品を販売しました。今年、特に観光協会の肝いりで「わんこそば大会」も開催され、参加者に大いに喜ばれて花巻の良いPRとなっていました。又、「お楽しみ抽選会」が催され、2500円お買い上げで1回の抽選に参加出来るイベントで、エーデルワインや地酒、焼酎やお米など、出展業者の物産品が提供されていました。出店は、漬物の丸一、道奥、協同農産、お菓子の早池峰だんご、ハッ



ピーハウス、米・雑穀や野菜などの花巻農協、ネクスグループ、亀屋、それにベーコンなどの胡四王物産などでした。大変な好天に恵まれて多く市民が参加していましたが、途中で地元神奈川県選出の河野外務大臣が顔を出すハプニングもあり、祭りは大いに盛り上がっていました。

《はなまき あれこれ》

平成29年度花巻市の決算・財政状況の報告

花巻市の平成29年度の決算が9月の定例議会で認定されましたので、簡単に報告したいと思います。市の会計には「一般会計」と特定の収入で特定の支出を行う「特別会計」などがあります。

平成29年度に一般会計に入ったお金(歳入)は509億2571万円、この中から使ったお金(歳出)は489億6076万円で、差し引き額は19億6076万円となりました。歳入では自主財源の代表的なものである市税が3135万円(0.3%)増加、依存財源の代表的なものである地方交付税は6億5578万円(4.3%)減少しました。歳入全体では4億1875万円(0.8%)の減少でした。

歳出では、人件費などの義務的経費は多様な保育サービスの提供に伴う扶助費の増加で9983万円(0.5%)の増加。道路や学校など将来に残るものに対する経費である投資的経費では、厚生病院跡地取

得費や、安全で快適な教育環境の確保を目的とした湯口・大迫中学校改築事業などに伴う建設事業費の増加などで12億5304万円(20.2%)の増加。歳出全体では、3億9930万円(0.8%)減少しました。

特別会計には、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険などが入りますが、歳入の合計が246億5945万円、歳出合計が237億7713万円で、差し引き額は8億8232万円となりました。

花巻市の財政状況は、国が示す財政健全化判断比率と資金不足比率で見ることが出来ますが、基準値を超える指標は無く財政状況は健全であると言えます。なお、地方債(借金)は983億円で、昨年度から2億円減少しています。市は、引き続き一層の健全化を推進する方針です。

(広報はなまき10/15号より)

第28回宮沢賢治賞・イーハトーブ賞と今冬のイベント

「宮沢賢治賞」と「イーハトーブ賞」は、宮沢賢治に関する優れた研究や、その精神を実践している人に贈られる賞です。この二つの賞は、市が毎年候補者の選考について「宮沢賢治学会イーハトーブセンター」に意見を求め、その選考結果を受けて決定、表彰しています。

第28回の賞は、「宮沢賢治賞」は「宮沢賢治と音楽」をテーマとした長きにわたる研究活動と社会活動により、賢治研究に新しい刺激を与え続けている功績が認められ、佐藤素平氏に決まりました。又、「イーハトーブ賞」は、賢治の「農民芸術概論綱要」に掲げられた理想に基づき北海道在住の農家と農業関係者が結成した「北海道農民管弦楽団」に決まりました。なお、宮沢賢治奨励賞には、賢治の研究者、森三紗氏、イーハトーブ奨励賞には絵本美術館「森

のおうち」(安曇野市)館長、酒井倫子氏に決まりました。受賞者に対する贈呈式は昨年9月22日、なはんプラザで行われました。



なお、賢治関連で今冬まだ間に合うイベントとしては、宮沢賢治記念館の特別展「童話 雪渡り」(10/20～3/31)、宮沢賢治イーハトーブ館の瀬川強写真展「イーハトーブの冬～五感で味わう世界～」(10/10～3/31)、道の駅「石鳥谷」で3月10日(日)に開催される「第12回賢治三月祭」などがあります。

(広報はなまき9/1号、宮沢賢治イベントカレンダーより)

ブドウ栽培とワインを次世代に繋ぐ若手応援プロジェクト

大迫のワインづくりにブドウを供給するブドウ栽培農家が高齢化や過疎化で存続が危ぶまれています。この危機の解消に立ち上がったのが、花巻市の地域おこし協力隊で大迫のブドウ農家のサポートや「ブドウづくり隊」の運営に携わりながら、首都圏で大迫の魅力を伝える活動を積極的に続けてきた鈴木寛太さん。昨年夏協力隊の任期を終え就農、現在大迫支所で集落支援員としてブドウ振興に携わりながら、自らブドウ栽培に取り組んでいます。

鈴木さんの平成27年～28年に行った調査(ブドウ栽培農家117戸を対象)によれば、後継者のいない農家がほぼ50%、年齢も9割以上が60歳以上、70歳以上が4割とのことです。そこで、今回立ち上げたのがブドウ農家支援の「ふるさと納税型クラウドファンディング」。花巻市へのふるさと納税を新規就

農や後継者育成施策に活用し、ブドウ農家を応援するプロジェクトです。市の定住推進課もこのプロジェクトを支援しています。



ところで、鈴木さんのおすすめワインは、赤はブルーノの香りが感じられる「シルバーロースラー2015」で、ロースラーの品種は日本では大迫だけで栽培されているとのこと。白は、グレープフルーツやリンゴの香りを感じさせる「五月長根葡萄園2017」。又、今年はブドウの生育が大変よく、良いワインが期待できるとのことです。

(ばらーの花巻10月号より)

共同企画展「齊藤宗次郎 花巻時代の足跡」始まる

市の生涯学習課による共同企画展「ぐるっと花巻再発見～イーハトーブの先人たち～」は、今回「齊藤宗次郎 花巻時代の足跡」を花巻市博物館で開催しています(12/8～1/27)。

齊藤宗次郎(1877～1968)は、笹間村の東光寺の三男として生まれましたが、内村鑑三に感化を受け弟子となり、生涯を師の信する信仰に捧げました。50歳の時内村鑑三につかえるため東京に転居しましたが、花巻時代には日露戦争に非戦論をとる等、花巻の人々にも大きな影響を与えました。宮澤賢治も強い影響を受けた一人で、「雨ニモマケズ…」の詩

は宗次郎がモデルだとも言われています。

明治の花巻は経済的にも大いに栄えましたが、同時に大変豊かな精神文化が興り、宗次郎はその中心人物の一人だったと考えられます。昨年宗次郎の孫娘さんが宗次郎の膨大な日記を博物館に寄贈しましたが、そのお披露目でもあるとのこと。まだ間に合いますので、帰郷の際は是非見て頂きたいと思います。

(編集部 花巻博物館より取材)



花巻市名誉市民に山折哲雄氏

昨年9月6日、花巻市は宗教学の第一人者として活躍している山折哲雄氏を初の「花巻市名誉市民」に決定しました。この制度は、市勢の発展や名誉・名声の高揚に著しく貢献された人に対しその功労をたたえとともに、後世までその功績を顕彰するため、創設したものです。

山折氏は昭和6年5月11日、米国サンフランシスコ生まれの87歳。東北大学文学部卒業、国立歴史民俗博物館教授などを経て、昭和62年国際日本文化センター教授に就任。平成13年から平成17年までの期間、同センター所長を務め、宗教学者・評論家として活躍しています。

同氏は、昭和18年に市内の母親の実家(上町・専念寺)に疎開。宮澤賢治の生家が近かったこともあり、賢治の作品に数多く触れながら、県立花巻高等学校(現花巻北高校)卒業までの約6年間花巻で過ごしています。



また、宗教学者・評論家として、賢治の世界観に触れながら日本人の宗教観などの提言を行うなど、花巻市の文化振興に多大な貢献をされています。

(広報はなまき9/15号より)

新花巻駅「ステップイン・はなまき」展示リニューアル

既にお気づきの方も多いかと思いますが、市はさらなる誘客と交流人口の増加を図るため、昨年8月4日に新花巻駅構内の観光PR展示スペース「ステップイン・はなまき」の展示をリニューアルしました。

「花巻温泉郷」や「JR釜石線沿線広域エリアの観光情報」など、五つのテーマで花巻市と広域エリアの魅力を発信しています。目玉は「花巻ゆかりのプロ野球選手」のコーナー。11名のプロ野球選手を紹介しており、選手の花巻東高や富士大学などの貴重なユニホームや野球用具なども展示されています。「野球どころ花巻」の面目躍如といったところです。

花巻温泉郷の展示では、湯船の中に入り写真を撮

れるコーナーも人気。ラグビーワールドカップ2019釜石開催展示コーナーには日本代表ユニホームやゴールポストのオブジェなども展示されています。釜石市のほか遠野市、住田町、大槌町の観光・物産情報も紹介されています。又、花巻祭りコーナーでは、風流山車のミニチュアや神輿も展示されその華やかさを誇っています。



(広報はなまき9/1号より)

花巻でドリーム・ベースボール開催

昨年9月30日(日)、TBSの朝の番組「サンデーモーニング」の名物のスポーツコーナーに映像で出演した「アップレ」や「喝」でお馴染みの張本勲さんが「今花巻に来ています!」と話され、「グラウンドの傍には菊池雄星や大谷翔平が出た花巻東高校があるんですよ!」といったコメントがありました。

実は、往年の名選手に学び、触れ合うという「宝くじスポーツフェア ドリーム・ベースボール」がこの日花巻市総合体育館で開催されていたのです。400勝投手の金田正一さん、3000本安打の張本勲さんをはじめ、巨人のエースとして活躍した桑田真澄さんなど20人の元プロ野球選手が集結。台風24号の

接近により市選抜チームとの対戦は中止となりましたが、野球教室などで来場者と触れ合いました。



野球教室には小中学生28チーム約450人が参加。打撃や守備、投球に分かれて手ほどきを受けました。この後トークショウがあり約2千人の観衆が憧れの名選手を前に、目を輝かせていました。(広報はなまき10/15号より)

「花巻まつり2019ツアー」について

在京花巻ふるさと会は、今年から新たにふる里花巻を支援するツアーを企画することになりました。今年はず京花巻人会が中心となって「花巻まつりツアー」を実施する計画です。

ところで、昨年の在京花巻人会の会報6月号(第54号)に「花巻まつりツアー2019実施のお知らせ」を掲載しツアーの概要をお知らせしましたが、その後9月の花巻まつりを下見しプランを検討し直した結果、旅程を2泊3日から1泊2日に、又、15日の土澤祭りを大迫のワインまつりに変更することに致しました。

変更に至った経緯を簡単に説明しておきます。まず、今回は募集人数が約50名と多いので、歩行や長時間座ることが困難な方でも参加できるよう花巻への往復は新幹線としました。しかし、新幹線はバスより料金が高いため旅程を1泊2日とし費用を抑えました。1泊2日ですと、特に女性参加者は荷物も少なくなり、家の不在も一晩で済むので参加しやすくなったかと思えます。

ただ、これまでの復興支援ツアーと違って、参加者の交流の機会があまりありません。そこで、14日にはオプションですが二次会を設ける予定であります。又、ツアーの前後を自分で自由に行動したいという方には現地で14日～15日のみ参加が出来るプランも検討したいと思います。

大迫のワインまつりについては、昨年復興支援ツアーで参加し、その楽しさは経験済みです。今年は15日開催で14日の花巻まつり見物と繋がりましたので、祭り見物が続いてしまう土澤祭りをワインまつりに変更しました。

以下がツアーの主な行程ですが、4月頃チラシを作成・配布し正式な募集を開始する予定です。是非ご参加頂きますよう、宜しくお申し上げます。

旅行期間：2019年9月14日(土)～15日(日)、1泊2日

募集人数：約50名

費用(概算)：4万円弱

旅程：9/14(土曜)

- 8：15 東京駅集合
- 8：48 やまびこ43号東京駅発
- 11：46 北上駅着(東北線乗り換え)
- 12：09 北上駅発
- 12：18 花巻駅着 ホテルグランシエールへ
- 12：40 歓迎昼食会(於グランシエール宴会場後、チェックイン)
- 14：30 おまつり広場へ(広場にはツアー用のテント・椅子の用意有り)
- 15：00～20：00 鹿踊パレード
神輿一斉連合パレード
鳥谷崎神社御神輿渡御
山車連合パレード

※屋台村(花巻のお店出展)や一般屋台で各自夕食
※20：00頃～22：00頃 二次会予定(希望者)

9/15(日曜)

- 9：30 ホテルロビー集合、貸切りバスにて出発
- 10：00 花巻まつり特産品フェア(花巻市民体育館)
- 11：30 大迫のワインまつりに出発(貸切りバス)
第50回おおはさまワインまつり(昼食は各自で)
ワインシャトー
- 15：40 新花巻駅到着
- 16：19 はやぶさ110号新花巻駅発
- 18：56 東京駅着 解散

※花巻まつり特産品フェア

花巻市内の特産品、三陸など花巻市外の特産品コーナー、姉妹都市の平塚市・十和田市、その他全部で100店以上のお店が並ぶ。

※花巻まつりの見物場所

上町の東北銀行北花巻支店の駐車場を交渉中

※おおはさまワインまつり

50回目となるワインフェスティバルで、メイン会場横に専用のテントと椅子を用意

花巻まつり2018の報告

会長 瀬川 紘一

毎年9月の第2土曜日を入れた金曜～日曜で行われる花巻まつりは、昨年は9月7日～9日に行われました。例年、花巻まつりは雨の降ることが多いと言われますが、昨年も初日から雨模様で、二日目の午後からは本格的に降りだし、最終日も雨となりました。しかし、雨二モメズではありませんが、3日間市の中心部のおまつり広場(吹張町、上町、大町)で繰り広げられた豪華絢爛な風流山車や神輿、郷土芸能などを大勢の観客が楽しみました。

初日の7日は、権現舞パレード、神輿連合パレードと続き、12台の風流山車による豪華な山車連合パレードの後には、人気のかがり火鹿踊の群舞で終了となりました。この日は、姉妹都市25周年を記念してアーカンソー州ホットスプリングス市から来日した28名のお客様たちも市長と共にパレードに参加しまつりを盛り上げました。

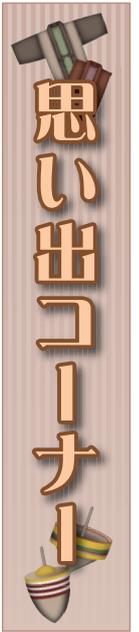
8日は、午後3時頃から雨脚が強くなり、鹿踊パレードは市の「学び学園」で演舞が披露されました。その後、お



祭り広場では105台の神輿による一斉連合パレード、さらには山車の連合パレードが賑やかに運行され盛り上がりしました。またこの日は、鳥谷崎神社の御神輿の渡御も行われました。

9日は、やはり雨で花巻ばやし踊りパレードは中止、山車連合パレードと神輿連合パレードは華やかに運行されました。最後には大手締めが行われ、その後も山車と神輿の自由運行が9時頃まで行われていました。

風流山車のテーマには、宮沢賢治の童話をモチーフにしたもの、ベールースと大谷翔平、ラグビーW杯などがあり来年の風流山車がどんなものになるか期待が集まります。又、花巻まつりと同時開催の「特産品フェア」(花巻市民体育館)と「第30回花巻郷土芸能祭」(なはんプラザ)にも足を運びましたが、どちらも大勢の市民が訪れ、楽しんでいました。



こつち町の少年時代と 花中・花高野球

瀨川 紘一
(花中31年卒)

〈はじめに〉

この原稿を書くこと
思ったきっかけは、花巻
北高校野球部創部80周年
記念誌「桜雲野球80年」
に出会ったことでした。
この記念誌は平成26年6
月発行ですが、昨年5月
に花巻に帰った時に阿部
彌之さんにお会いした
際、阿部さんが編集を担
当されたとのことでした。
に残部があり、入手する
ことが出来ました。

こつち町の野球少年達
私は、昭和15年12月に
四日町で生まれました。
所謂新道から北の四日町
や一日市などの旧花巻町
を私たちはこつち町と呼
び、新道より南の旧川口
町をあつち町と呼んでい
ました。昭和25年に4年
生の途中で駅前大通りに
引越すまでの約10年間
こつち町の四日町で過ご
しました。当時、子供た
ちが夢中になったのは野
球と相撲、やるのも見
る・聞くのも楽しみまし
た。その後映画も私たち
の楽しみに加わりました
が、何と云っても野球が
当時子供たちを最も夢中
にさせたと言つて良いと
思います。

軟式野球のボールを使つ
ての本格的な野球をやる
ようになりましたが、道
具集めが大変でした。金
属片やぼつとと呼ばれた
布切れを集めて今弘商店
に持って行くとズック製
のグローブと交換してく
れました。又、母が柔道
着のズボン野球用のユ
ニホームに直してくれた
のを憶えています。今で
言う少年野球ですが、練
習は早朝の花中のグラ
ンドでした。

一方の見る野球は、プ
ロ野球は見ると言つても
集めたプロマイドを見る
のがせいぜい、たまに聴
くラジオの野球中継でプ
ロ選手のプレイを想像す
るだけでした。ただ、花
巻中学・花巻高校の野球
は、日居城野グラウンドで
練習や試合を見ることが
出来ました。こつち町出
身の選手が何人もいて、
わくわくしながら見に行
ったのを憶えています。

あつた小高い岡を駆け上
り、校庭の北の招魂碑の
ある松林を通り抜け東北
本線の線路を横切りま
す、さらに松林を進むと
松園町の公営住宅地に至
り、間もなく野球場が見
えてきました。

花巻は、あつち町も
こつち町も野球が盛んで
良い選手が花中・花高に
集まり、練習風景にもあ
る種の熱気を感じたもの
でした。それに、何よ
り応援に力が入ったの
は、当時の花中・花高野
球部にはこつち町出身の
選手が多かったからで
す。昭和23年、私が小学
2年生の時の花巻一高の
選手では、1番センター
長沢(いさおさん)、4
番ピッチャー兼シヨート
瀨川(たかおさん)、5
番シヨート兼ピッチャー
小原(鍛冶屋のこつちゃ
ん)、8番セカンド平野
(更科のゆつちゃん)と
9人の先発選手のうち4
人がこつち町でした。



左上写真左が瀨川選手

この年、花巻中は決
勝まで勝ち進み福岡中と
対戦、この試合を観戦し
たのですが残念ながら3
対0で敗れ優勝を逸しま
した。福中のピッチャー
で4番の高木選手は投げ
ては完封、打つても打棒
が冴えて、この選手さえ
いなければとものすごく
悔しがった記憶がありま
す。この後、福高は花高
の天敵となります。

昭和23年は全国高等
学校野球選手権大会とな
り、県大会は盛鉄球場で
開催されました。花中は
花巻第一高校となり花巻
地区予選を勝ち上がって
県大会に出場、決勝まで
勝ち進み前年に続き再び
福高との決勝戦となりま
した。この試合も
父に連れられ盛鉄
球場で応援しまし
たが、又も福高に
7対11で敗れ奥羽
大会への夢は絶た
れました。

昭和24年の岩手
県大会は日居城野
グラウンド(当時は
花巻温泉球場)で
開催され、花巻高
校(この年花巻高
校)はこの年7決

親睦
交流

第24回 歩こう会

宿場町草加の美しい松並木を散策

理事 松村扶恵子

12月1日(土)朝10時半過ぎお天気上々!! 参加者42名が暖かな日差しの中、歴史散策路とは言いながら車の多い道を歴史民俗資料館へと歩きました。資料館では南部藩の参勤交代絵巻の展示があり、学芸員の方が丁寧に説明して下さいました。草加宿は品川宿と同じ様にここで行列を組み直し、江戸に入ったのだそうです。古い農機具などを拝見し懐かしく子供の頃を思い出しながら東福寺へと歩きました。

東福寺本堂、山門、鐘楼は江戸後期の建造物で彫刻が素晴らしかったです! 会長がおせんべいを買って来て下さり、皆で「おせんべい美味しいね」と言いながら次の松原遊歩道へと向いました。松原の入り口には、おせん公園(草加せんべい発祥の地碑)、河合曾良の像、日光街道をはさんで松尾芭蕉の像が立っていました。この道は道百選に選ばれており、国指定の名勝でもある気持ちの良い道でした。

松並木の横には綾瀬川が流れ、かつての札場河岸が再現されており、その昔色々な物資を積んだ舟が行き来したのだろうと想像させられます。綾瀬川に架かるハープ橋で記念写真をパチリ、残り松原大橋まであと一息。草加市民文化会館でお昼タイム。其々に昼食をとり、後半は綾瀬川左岸広場を歩

き、札場河岸公園に戻りました。

正岡子規句碑や、甚左衛門堰などを見ながら旧日光街道を市街地に戻るかたちで歩き、おせんべいを買ったり、清水、大川本陣跡の碑、藤城家、浅古家の古い建物を見ながら草加駅へ。午後3時10分頃無事解散となりました。3時30分からは打ち上げ会を駅そばの居酒屋で開催、23名の参加者がビールで喉を潤し、2時間たっぷりお酒と会話で盛り上がりました。

今回はフラットな道でしたが1万歩程歩いたでしょうか。参加して下さい皆様、本当にご苦労様でした。そして今回の歩こう会もまた無事に済みました事に感謝致します。ありがとうございました。

30年度年会費納入のお願いと
納入状況

在京花巻人会の運営に多くのご協力を賜りありがとうございます。花巻人会は会員の皆様からお振込みいただいた会費で運営させていただいております。

30年度の年会費3,000円には6月1日付・第54号同封の振込取扱票(手数料不要)で最寄りの郵便局より下記口座にお振込みいただくようお願い申し上げます。

口座名義 在京花巻人会

口座記号番号 00240-6-111794

30年度の年会費納入は、11月30日現在259名777,000円となっております。

皆様のご協力に感謝とお礼を申し上げます。

会計担当 高橋良光 板垣雅子

新井薬師節分会での
金津流丹内獅子躍の応援

今年も2月3日の節分が近づいてきました。毎年会報でもお知らせしていますが、今年も東和町の金津流丹内獅子躍が新井薬師梅照院に演舞の奉納にやってきます。

昼前に梅照院境内で演舞の後中野駅前サンプラザ広場までパレード、13時過ぎから演舞が披露されます。演舞終了後は氏子代表の方や鬼と共に参道の大勢の観客に豆を配りながらパレードして梅照院に戻り、16時過ぎに最後の演舞が納められます。

毎年行われる節分会の獅子躍は、新井薬師梅照院と中野サンプラザ広場の風物詩となっています。今年も是非どちらかで応援して頂きたいと思っております。

なお昨年は、獅子躍一行を慰労する会を演舞終了後に開催しましたが、今年は2月3日に岩手県連合会の新春懇談会があり、慰労会は難しい状況です。ただ、獅子躍の演舞の応援は県連と二手に分かれて例年通りに行いたいと思っております。是非、一緒に応援して頂きたいと思っております。